

小樽市指定歴史的建造物

市内に残る歴史的建造物は、小樽らしい景観を構成する貴重な要素です。超一流の建築家が手掛けた銀行や商社、小樽の産業を支えた倉庫や漁場建築、移住者の祈りが寄せられた社寺建築など、時代や種類の異なる様々な歴史的建造物は、小樽を、ひいては日本を代表する貴重な遺産と言えます。

これら市内各所に残る歴史的建造物を保存しようと、昭和 58（1983）年、小樽市では「小樽市歴史的建造物及び景観地区保全条例」を制定し、独自の「歴史的建造物指定制度」を設立しました。

この条例は、景観・まちなみづくりの観点から歴史的建造物に着目し、特に建物の外観を保全するものです。国、道、そして市から文化財に指定された場合（いわゆる「指定文化財」になった場合）には、外観と等しく内部にも規制や制限がかかることと比べると、内部改修の規制がないことから、古い倉庫などが外観を活かしながら喫茶店や土産物店に改装されるなどして、歴史的建造物の新たな利活用を生み出すきっかけとなりました。小樽市が独自に設けた条例や制度、そしてそれによって歴史的建造物の活用の幅を広げた先進的なまちなみ保存の取組であったと言えます。現在、条例は「小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例」に代わり、歴史的建造物として登録されている物件は 96 件、その中で指定されている物件は 79 件のにのぼります。

小樽を特徴づける歴史的まちなみの代表例を御紹介します。

● 鯨漁場建築 ●

幕末期から永々と続く漁業（特にニシン漁）に関わる建物とまちなみが、祝津地区、忍路地区に残されています。特に祝津に残る鯨漁場の歴史的な建物の棟数は、日本海沿岸の中でも随一です。道指定、国登録の建物に加え、近江家番屋、旧白鳥家番屋、恵美須神社社殿、茨木家中出張番屋などがあります。この他周辺には、石蔵などニシン漁にかかわる建物も残されています。

● 運河沿いの景観と木骨石造倉庫群 ●

鉄道の開通により、北海道の物資が小樽港に集まるようになり、小樽は物流の拠点となりました。物資を保管するために、同じ頃小樽の海岸線に木骨石造倉庫が建ち並びました。大規模な営業倉庫として、旧広海倉庫、旧小樽倉庫、旧大家倉庫などが残されています。

大正時代になると、はしけ荷役の効率化のため既存の海岸線の対岸に埋立地が造成されました。埋立地は小樽では貴重な平たん地であったことから、北海製罐(株)に代表されるように、倉庫・工場等が建てられました。

この埋め立て工事により、既存の海岸線と埋立地

に挟まれる形で一部海と分断された水路が誕生しました。この水路が現在「小樽運河」（大正 12<1924>年竣工）と呼ばれています。運河沿いに歴史的建造物が並ぶ様子は、小樽を象徴する貴重な景観となっています。

● 銀行建築 ●

小樽の好景気は明治末期から隆盛を極め、大正末期に市内の銀行数は最大で 25 行を数えました。中でも経済の中心地となったのが色内地区です。全国各地の銀行の本店・支店が多数集まり「色内銀行街」と呼ばれ、活況を呈しました。現在も日本銀行旧小樽支店を筆頭に、旧北海道銀行本店、旧三菱銀行小樽支店、旧北海道拓殖銀行小樽支店、旧三井銀行小樽支店など、多数の銀行建築が残ります。色内銀行街には辰野金吾や曾禰達三といった名だたる建築家が手掛けた作品が残ることに加え、各時代の様式、最新工法が採用された建物が凝縮して残されています。まさに、全国に類を見ない「近代建築史の縮図」と言えます。



旧北海道拓殖銀行小樽支店

● 個人邸宅など ●

小樽には種々の事業で大成功を収めた名士の邸宅が多数建てられ、その一部は歴史的建造物に指



旧坂牛邸

定・登録されています。JR小樽駅裏の富岡地区は、かつて度重なる火災から逃れるため富裕層が多く移り住んだ高台の邸宅街で、現在も蔵や石垣などにその名残を見ることができます。また、皇太子（のちの大正天皇）の北海道行啓の際の御宿泊所として建てられた旧小樽区公会堂や、現在も使用されている小樽市庁舎は個人の寄付を機に建築されたもので、当時の小樽の人々の気概が表われていると言えるでしょう。

● 神社・寺院・教会 ●

小樽市内には、神社・寺院・教会が数多くあり、それぞれの建築が密集して建つエリアもあります。



旧カトリック富岡教会

神社には豊漁祈願や航海の安全を願った絵馬や北前船主たちが寄贈した鳥居や玉垣なども残されています。また、資産家が檀家となっていた寺院は明治期の大規模な建物が残り、キリスト教は明治の早い段階から布教が行われたため、こちらも明治～昭和初期の教会が残っています。いずれも、港町小樽の歴史を反映していると言えます。これらの施設は今なお多くの信仰を集め、小樽のまちなみに溶け込んでいます。

小樽市指定歴史的建造物

(出典:小樽市建設部HPなど 指定番号3, 14, 35, 44, 48, 56番は欠番)

令和3年1月現在

番号	建設時の名称	現在の名称	建築年	構造	住所
1	大家倉庫		明治24 (1891) 年	木骨石造 1 階建	色内 2-3-11
2	魁陽亭		明治29 (1896) 年以降	木造 2 階建	住吉町 4-7
4	遠藤又兵衛邸	立正佼成会小樽教会	明治35 (1902) 年	木造 1 階建	富岡 1-9-4
5	百十三銀行小樽支店	小樽浪漫館	明治41 (1908) 年	木骨石造 2 階建	堺町 1-25
6	北海道銀行本店	小樽バイン 北海道中央バス(株)本社ビル	明治45 (1912) 年	石造 2 階建	色内 1-8-6
7	名取高三郎商店	ナトリ(株)小樽支店 大正硝子館	明治39 (1906) 年以降	木骨石造 2 階建	色内 1-1-8
8	岩永時計店	小樽オルゴール堂堺町店	明治30年代	木骨石造 2 階建	堺町 1-21
9	第百十三国立銀行小樽支店	オルゴール堂海鳴楼	明治28 (1895) 年	木骨石造 1 階建	堺町 1-20
10	小樽商工会議所		昭和8 (1933) 年	鉄筋コンクリート造 3 階建	色内 1-6-32
11	小樽市庁舎	小樽市庁舎本館	昭和8 (1933) 年	鉄筋コンクリート造 3 階建	花園 2-12-1
12	小樽区公会堂／岡崎家能舞台	小樽市公会堂 小樽市能楽堂	明治 44 (1911) 年 大正 15 (1926) 年	木造 1 階建	花園 5-2-1
13	小樽倉庫	小樽市総合博物館運河館 / 小樽市 観光物産プラザ / 小樽百貨 UNGA ↑	明治 23 (1890) ~ 27 (1894) 年	倉庫: 木骨石造 1 階建 事務所: 木骨煉瓦造 2 階建	色内 2-1-20
15	早川支店	Vivresavie+mi-yyu	明治37 (1904) 年	木骨石造 2 階建	色内 2-4-7
16	越中屋ホテル	UNWIND HOTEL & BAR OTARU	昭和6 (1931) 年	鉄筋コンクリート造 4 階建	色内 1-8-25
17	共成(株)	小樽オルゴール堂	大正4 (1915) 年	煉瓦造 2 階建	住吉町 4-1
18	三菱銀行小樽支店	小樽運河ターミナル 北海道中央バス(株)第 2 ビル	大正11 (1922) 年	鉄筋コンクリート造 4 階建	色内 1-1-12
19	安田銀行小樽支店		昭和5 (1930) 年	鉄筋コンクリート造 2 階建	色内 2-11-1
20	渋澤倉庫 (遠藤倉庫)	小樽ゴールドストーン OTARU CRUISE SERVICE	明治25 (1892) 年頃	木骨石造 1 階建	色内 3-3-20
21	木村倉庫	北一硝子三号館	明治24 (1891) 年	木骨石造 2 階建	堺町 7-26
22	増田倉庫		明治36 (1903) 年	木骨石造 2 階建	色内 3-10-19
23	上勢友吉商店	小樽オルゴール堂 手作り体験 遊工房	大正10 (1921) 年	石造 3 階建	入船 1-1-5
24	第一銀行小樽支店	(株)トップジェント・ ファッション・コア	大正13 (1924) 年	鉄筋コンクリート造 4 階建	色内 1-10-21
25	第四十七銀行小樽支店	(株)渋谷建設	昭和11 (1936) 年	木造 2 階建	色内 1-6-25
26	猪股邸		明治39 (1906) 年	木造 2 階建	住吉町
27	寿原邸	旧寿原邸	大正元 (1912) 年	木造 2 階建	東雲町 8-1
28	小樽聖公会	同左	明治40 (1907) 年	木造 1 階建	東雲町 10-5
29	小樽組合基督教会	小樽公園通教会	大正15 (1926) 年	木造 2 階建	花園 4-20-18
30	三井物産小樽支店	松田ビル	昭和12 (1937) 年	鉄筋コンクリート造 5 階建	色内 1-9-1
31	北海道拓殖銀行小樽支店	小樽芸術村似鳥美術館	大正12 (1923) 年	鉄筋コンクリート造 4 階建	色内 1-3-1

番号	建設時の名称	現在の名称	建築年	構造	住所
32	岡川薬局	(旧) 岡川薬局	昭和5 (1930) 年	木造 3 階建	若松 1-7-7
33	久保商店	くぼ家	明治40 (1907) 年	木造 2 階建	堺町 4-4
34	金子元三郎商店	瑠璃工房	明治20 (1887) 年	木骨石造 2 階建	堺町 1-22
36	田中酒造店	同左	昭和2 (1926) 年	木造 2 階建	色内 3-2-5
37	渡邊酒造店		昭和5 (1930) 年	木造 3 階建	稲穂 4-6-1
38	中越銀行小樽支店	銀の鐘	大正13 (1924) 年	鉄筋コンクリート造 2 階建	入船 1-1-2
39	北海道庁土木部小樽築港事務所見張所		昭和10 (1935) 年	木造 1 階建	築港 2-2
40	通信電設浜ビル	協和浜ビル	昭和8 (1933) 年	鉄筋コンクリート造 4 階建	色内 1-2-18
41	戸出物産小樽支店		大正15 (1926) 年	木造一部煉瓦造 3 階建	入船 1-1-1
42	嶋谷倉庫	北のアイスクリーム屋さん	明治25 (1892) 年	木骨石造 1 階建	色内 1-2-18
43	作左部商店蔵	シーボート	明治初期	土蔵造 2 階建	住吉町 15-3
45	高島町役場庁舎		昭和10 (1935) 年	木造 2 階建	高島 4-1-1
46	花園町会館	花園会館	昭和2 (1927) 年	木造 2 階建	花園 4-3-8
47	潮見台浄水場管理棟	同左	昭和2 (1927) 年	鉄筋コンクリート造 1 階建	潮見台 4-143
49	天上寺本堂	同左	明治23 (1890) 年	木造 1 階建	入船 4-32-1
50	水天宮本殿、拝殿	同左	大正8 (1919) 年	木造 1 階建	相生町 3-1
51	高橋倉庫	小樽芸術村 (ステンドグラス美術館)	大正12 (1923) 年	木骨石造 2 階建	色内 1-2-17
52	荒田商会	小樽芸術村 (ステンドグラス美術館)	昭和10 (1935) 年	木造 2 階建	色内 1-2-17
53	日本石油(株) 倉庫	運河公園休憩棟	大正9 (1920) 年	木骨石造 1 階建	色内 3-6-18
54	日本郵船(株) 小樽支店残荷倉庫		明治39 (1906) 年	石造 1 階建	色内 3-7-6
55	嶋谷汽船(株) 社長宅		昭和2 (1927) 年	木造 2 階建	富岡 2-25-32
57	日本郵船(株) 支店長社宅		明治末期	木造 1 階建	末広町 3-7
58	恵美須神社本殿	同左	文久3年 (1863) 年	木造 1 階建	祝津 3-161
59	徳源寺本堂	同左	明治30 (1897) 年	木造 1 階建	塩谷 2-25-1
60	龍徳寺本堂	同左	明治9 (1876) 年	木造 1 階建	真栄 1-3-8
61	住吉神社社務所	同左	昭和9 (1934) 年	木造 1 階建	住ノ江 2-5-1
62	白鳥家番屋		明治10年代	木造 1 階建	祝津 3-191
63	篠田倉庫	小樽運河レストラン輝	大正14 (1925) 年	木骨煉瓦造 2 階建	港町 5-4
64	岡崎倉庫 (3 棟)	田中酒造(株) 亀甲蔵	明治38 (1905) 年ほか	木骨石造 1 階一部 2 階建	1号棟: 信香町 2-2 2・3号棟: 信香町 2-24
65	右近倉庫		明治27 (1894) 年	木骨石造 1 階建	色内 3-10-18
66	広海倉庫		明治22 (1889) 年	木骨石造 1 階建	色内 3-10-19
67	塩田別邸	夢二亭	大正元 (1912) 年頃	母屋: 木造 1 階一部 2 階建 蔵: 木骨石造 2 階建	入船 2-8-1
68	塚本商店	cafe 色内食堂 / 小樽北筋庵 / 小樽和菓子工房 游樂	大正9 (1920) 年	木骨鉄網コンクリート造 2 階建	色内 1-6-27
69	小樽無尽(株)本店	おたる無尽ビル	昭和10 (1935) 年	鉄筋コンクリート造 3 階建	花園 4-1-1
70	カトリック富岡教会	カトリック小樽教会富岡聖堂	昭和4 (1929) 年	木造一部鉄筋コンクリート造 3 階建	富岡 1-21-25
71	板谷邸	海宝樓クラブ	大正 15 (1926) 年～ 昭和 2 (1927) 年	母屋: 木造 1 階 蔵: 石造 2 階	東雲町 1-19
72	小堀商店		昭和7 (1932) 年	木骨鉄網コンクリート造 2 階建	住吉町 14-4
73	向井呉服店支店倉庫	カフェ&バー CANAL	明治40 (1907) 年	煉瓦造 4 階建	稲穂 1-4-13
74	坂牛邸		昭和2 (1927) 年	木造 2 階建	入船 5-8-15
75	猪俣邸	銀鱗荘	明治33 (1900) 年	木造 2 階建	桜 1-1
76	北海製罐倉庫(株)	北海製罐(株) 小樽工場	大正 11 (1922) 年～ 昭和 10 (1935) 年	鉄筋コンクリート造 2 階建ほか	旧第 2 倉庫、他 2 棟: 色内 3-1 第 3 倉庫: 港町 4-6
77	浪華倉庫	小樽運河食堂	大正14 (1925) 年	木骨石造 1 階建	港町 6-5
78	水上歯科医院		昭和8 (1933) 年	木造 3 階建	住ノ江 1-6-26
79	光亭	罐友倶楽部	昭和12 (1937) 年	木造 2 階建	東雲町 3-8
80	前堀商店		昭和初期	木骨鉄網コンクリート造 一部木骨石造 3 階建	色内 2-9-22
81	丸ヨ白方支店	December3	明治末期～ 昭和 6 (1931) 年	木造一部木骨石造 3 階建	稲穂 2-14-1
82	小樽保証牛乳(株)	小樽ミルク・プラント	昭和11 (1936) 年	木造 2 階建	花園 2-12-13
83	磯野支店倉庫	ISO (イン)	明治39 (1906) 年	煉瓦造 2 階建	色内 2-2-14
84	杉森喜一郎邸	小樽ゲストハウス パスタクラブ	昭和初期	鉄筋コンクリート造 2 階建	緑 3-9-5
85	北海雑穀(株)	小樽硝子の灯・彩や	明治42年 (1909) 以前	木骨石造 2 階建	堺町 1-18